

新光会村上記念病院 オプトアウトによる臨床研究

① 研究課題名	入院血液透析患者におけるマグネシウム摂取量と血清マグネシウム値との関連
② 研究責任者および所属部門・職位	北林 紘・栄養科・科長
③ 対象期間および対象者	2017年1月～2020年5月の間に、新光会村上記念病院医療療養病棟に入院された血液透析患者さん
④ 利用する情報・試料	電子カルテに記録されている診療情報（食事摂取量、血液検査、既往歴、服薬）
⑤ 研究の概要	対象者を血清マグネシウム値により、2.7mg/dl未滿、2.7～3.0mg/dl、3.1mg/dl以上の3群に分類します。その後、栄養摂取量、血液検査、既往歴、服薬状況が3群間で異なっているのか多重比較を行います。次に、血清マグネシウム値を従属因子、食事からのマグネシウム摂取量、服薬によるマグネシウム摂取量、血清アルブミン値、塩酸セベラマー、プロトンポンプ阻害薬を独立因子として、重回帰分析を行います。
⑥ 研究の目的と意義	マグネシウムは血液透析患者さんの心疾患や異所石灰化を抑制し、生命予後を改善させることが明らかとなり注目を浴びています。透析患者さんの生命予後を改善させる血清マグネシウム値は2.7～3.0mg/dlとされていますが、どれくらいマグネシウムを摂取すれば望ましい値にすることができるのかは不明です。そこで、当院の診療記録を用いて、マグネシウム摂取量と血清マグネシウム値との関連を明らかにし、透析患者さんの生命予後の改善に寄与したいと考えております。
⑦ 新光会村上記念病院倫理審査委員会 承認番号	2002
⑧ お問い合わせ先	新光会村上記念病院 栄養科 TEL 0254-52-1229 FAX 0254-52-3556 e-mail: kinen.eiyo@shinkohkai.jp 担当：北林 紘